

(様式 1-3)

おいらせ町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	8	事業名	津波避難路整備事業	事業番号	◆D-20-1-4
交付団体	おいらせ町		事業実施主体 (直接/間接)	おいらせ町 (直接)	
総交付対象事業費	15,651 (千円)		全体事業費	15,651 (千円)	
事業概要					
<p>明神山には L2 津波対応の避難施設として、川口地区や川口保育園など合計 134 名の避難困難者を対象に津波避難タワーを建設中であるが、津波避難タワーに至る現道は、最急勾配 16.4%の非常に急な坂道になっている。</p> <p>当該避難路の利用者は、高齢者や保育園児などの避難弱者が主であるため、夜間や冬期間の路面凍結時においても急勾配の避難路を安全かつ速やかに避難が可能なように、すべり止め舗装、手すり付きガードパイプ及びソーラー照明灯などを整備するものである。</p>					
当面の事業概要					
<平成 27 年度> 設置工事					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災では、百石漁港付近において約 7.5m の津波が発生し、重軽傷者 3 名、住家 38 棟、非住家 41 棟の全壊及び半壊被害の他、百石漁港被害、漁港陸こうゲート損壊、荷さばき施設建設中止、川口河川公園損壊など、当町沿岸部は川口地区を中心に甚大な被害を受けた。					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-20-1
事業名	復興地域づくり計画調査事業
交付団体	おいらせ町
基幹事業との関連性	
復興地域づくり計画調査報告書において、津波避難計画具現化に向けた課題として、「避難路の検証と短時間で避難が完了できるような整備」が課題として提起されており、津波避難路の整備により、より短時間で迅速に避難できるような整備を図るものである。	